

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2023/09/01 ~2023/09/30)

1. 勉強面

今月からいよいよ授業が始まりました。崇城大学では応用微生物工学科に在籍していますが、UTP に全く同じ学科はないのでこちらでは Chemical Engineering (CE) に所属しています。

授業は Data Analytics (DA) と Industrial Effluent Engineering (IEE) の二つを受講しています。UTP の授業は崇城大学とは違い、授業時間は 1 コマ 2 時間です。また、1 科目につき Lecture (講義) と Lab (実験) もしくは Tutorial (演習) の 2 コマを受講しなければなりません。したがって、私は 2 科目履修しているので週に 4 コマの授業を受講しています。また、UTP の授業以外に崇城大学の授業も 2 コマ受講しています。Online と書いてあるものが崇城大学の授業です。(写真 9)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
08:00	Data Analytics Lecture D2				Industrial Effluent Engineering... 5-2-7
10:00					
10:00		Biotechnology review II online	Industrial Effluent Engineering... 3-1-5		
12:00					
12:00	Data Analytics Lab 19-1-7			Bioreaction engineering online	
14:00					
14:00					
16:00					
16:00					
18:00					

写真 9 時間割

崇城大学の授業はミライクの関係上履修した方がミライクの手続きが楽だったので研究室配属が決まった 9 月の下旬に履修登録をしました。ミライクの方で留学に興味のある人は詳しい内容を国際交流センターの先生に聞いてください。脱線しましたが、改めてこれら 2 つの授業を履修した理由は 2 つあります。1 つめに、履修する科目数について、予習や復習を英語で行うという観点と崇城大学の授業も受講することから多くても 3 科目以下が良いと考えました。したがって、初めは 3 科目を履修する予定でしたが、1 つの科目は全て自主学習という形で講義が行われないものだったので履修はやめました。履修登録の方法に関しては崇城大学のものと変わりありません。授業開始 2 週間までは履修登録の変更が可能です。2 つめは、これらの授業に興味を持ったからです。DA は今後研究をしていく際に必要になる技術だと思ったので履修を決めました。IEE は崇城大学で同じような授業を受講したことがあったので英語でも比較的受講しやすいと考えて履修しました。履修登録をする際の注意点として、履修する科目数は 1 日 1 コマ前後、また難しい授業を選ばないことをお勧めします。もし、体育や図工などの比較的専門性を問わない授業がある際は、それを履修すると良いと思います。残念ながら、UTP にはそのような授業がありませんでした。

次に、授業内容についてですが、初め DA は 10%程度、IEE は 60%程度しか理解できませんでした。IEE に関しては元から予備知識があるので事前に予習をすれば先生が何をおっしゃっているのかは検討がつくといった程度です。DA は専門英語がとても多いことと Lab では私にとって未経験のプログラミングがあるということで全くついていけませんでした。さらに追い討ちをかけるかの如く、そのプログラミングの授業は初めからではなく、すでに基礎は学習済みという形からスタートしました。おそらく。UTP は Foundation Course といって大学 1 年生の前の学年があるので、プログラミングの基礎はそこで学習したのだと思います。したがって、私はプログラミングの基礎を独学で勉強しました。しかし、まだまだ先生が授業中に何をおっしゃっているのかわからない状況が続いています。課題はほとんどありません。授業中に問題を解き、解き終わらなかつたら宿題になります。幸い、DA も IEE も現地の友達がすぐにできたのでその友達に授業内容や課題を教えてもらいながら、なんとか耐えている状況です。

授業以外について、余った時間は、研究室に行って、研究室の先輩と微細藻類の研究をしています。国際交流センター長の草壁先生のおかげで、UTP で自由に研究させてもらえています。授業は分からない事が多くまだ楽しいとは思えませんが、研究は優しい先輩方がゆっくり話してくださったり、どんな質問にも答えてくださったりととても充実していて楽しいです。

上記を踏まえて、留学で授業を乗り切る方法は、スバリ友達や先輩を作ることだと思います。ルームメイトやハウスメイトから徐々に友達の輪を広げていくと良いと思います。

2. 生活面

生活に関して、平日は予習や復習、授業、研究で 17 時ごろに帰宅します。その後、日本でのオンラインのアルバイトをマレーシアに来ても続けているので、夕方は 1 時間から 2 時間、週に 4 日ほど、アルバイトをしています。その後は、ご飯を済ませ、ゆっくりする時もあれば、友達とバスケットボールやバドミントン、ランニングなどを楽しんだりしています。夜は比較的時間に余裕があるので、自由時間を楽しんでいます。ルームメイトやハウスメイトに関して、ルームメイトは中国からの交換留学生です。私と同じく、英語は第二言語なのでお互い苦手ながらも頑張って会話をしています。特に問題はなく仲良く共同生活を送れています。ハウスメイトには、フランスとトルコからの交換留学生、また現地のマレーの子がいます。正直、一部の子としかあまり話していません。しかし、生活に関して特に問題は全くありません。設備面でシャワーが水しか出ないこととトイレの衛生面に関して日本は本当に恵まれていると感じます。

休日に関して、土曜日の午前中はアルバイトをしています、午後から勉強したり、ギターが趣味なのでギターを弾いたり、気が済むまでお昼寝したりゆっくり過ごしています。また、夜に校内でイベントが行われる際は、必ず参加しています。屋台が出たり、花火が上がったり、みんなで歌を歌ったり、とても楽しいです。また、祝日で 3 連休の

時にはルームメイトと旅行に行ったり、友達に車でショッピングや遊びに連れて行ってもらっています。以下様々な写真を添付しています。



写真 10-1 ヒンズーの伝統衣装



写真 10-2 マレーの伝統衣装

次の写真はマレーシアの有名なウォールアートです。



写真 11-1 ウォールアート Ipoh



写真 11-2 ウォールアート Penang



写真 12 ラーメン Penang

Penang とい観光地に旅行に行った時に食べたラーメンです。日本のラーメンと同じくらい美味しかったです。店内は開店と同時に満席になるくらい大人気のお店でした。

これは友達とイオンに行った時に見つけたマレーシアのお寿司です。現地の方は生魚を食べる習慣はないのでこのような稲荷や揚げ物が乗っているものが多かったです。また、辛いお寿司も多く、日本のものと全く違うなと思いながら、味わいました。味は美味しいですが、日本のお寿司の方が好きだと実感しました。



写真13 マレーシアのお寿司



写真14 インド料理

これは、友達が夜ご飯に連れて行ってくれたインド料理です。ナンカレーとマギゴレン、ご飯のようなものは料理名は忘れたと友達が言っていました。マギゴレンはインスタントラーメンの麺を焼きそば風に炒めたようなものでした。ご飯のようなものは少し辛かったですが、美味しかったです。ナンカレーはソースが3種類あり、蜂蜜、スパイスカレー、ジャムでした。どれもすごくおいしかったです。

校内で開催された、自国の料理を振る舞うイベントに参加しました。私は、日本食のおにぎり、熊本の郷土料理のだご汁を提供しました。どちらも大好評だったので良かったです。現地の方はおにぎりの具材でツナが一番好きだそうです。もし、留学先で日本食を振る舞う時にツナマヨおにぎりを作ると喜ばれるかもしれません。



写真15 自国の料理を振る舞うイベント

これで9月の月間報告を終わります。